



チェックシベツ

教育目標
たくましい身体の子ども
ねばり強く働く子ども
進んで学ぶ子ども
美しく豊かな思いやりのある子ども

秩父別小学校だより 第8号（令和3年11月30日）【発行責任者 山田 禎史】

【3つのレベルの『感謝の心』】

今年は、例年に比べ初雪が遅れていましたが、勤労感謝の日に降った雪で、辺り一面、真っ白な雪景色となりました。これからの季節は、積雪や路面凍結による冬型の事故が起きやすくなります。登下校の際は、安全に十分気をつけて欲しいと思います。

さて、11月23日は「勤労感謝の日」でしたが、「感謝」にちなんで、今月の全校朝会では、『3つのレベルの「感謝の心」』についてお話をしました。

「感謝の心」には、3つのレベルがあるとされています。

子ども達には、自分が3つのレベルの中でどのレベルなのか、考えながら聞いてもらいました。大まかな内容は、次のとおりです。

まずは、レベル1！何かをしてもらったときに「ありがとう」と感謝できる心です。

レベル1の感謝は、説明しなくても、誰にでもわかりやすい「感謝」です。

家族や先生、友達や他の人からお世話になったり、困っていたら助けてもらったり、お手伝いをしてもらったりしたときに「ありがとう」と感じる感謝の気持ちです。

この段階で挙手してもらいましたが、ほとんどの人は、レベル1はクリアでした。

次は、レベル2！レベル2は、あって当然、当たり前と思っていることに感謝できる心です。

よく災害などの後に言われるのですが、「今まであったものがなくなって、初めて、あったときのありがたみがわかる。」という当たり前のことに対する感謝です。

例えば、日頃から皆さんが使っている電気、水道、ストーブや扇風機、そして、食事、服、学校やお店など、これらのあって当たり前のもがなくなったとき、人は本当に困ってしまいます。そして、不自由なく使っていた頃の便利さ、ありがたみに気がつくのです。いま、当たり前で過ごしている色々なものに「ありがとう」と感謝できるようになれば、レベル2に到達です。

「レベル2もクリアだ！」という人は、かなり少なくなりましたが、高学年が多かったです。

次は、レベル3！自分に降りかかる困難（苦しいこと）や問題点にさえ感謝できる心です。

自分に降りかかる困難や問題点に「ありがとう」は、なかなか言えません。

困難や課題に立ち向かっていくことは最も重要なことですが、これは大人でも難しいことです。

叱られたり、注意されたり、失敗したりしたときに、「ありがとう」と思える感謝の心をもてと言われても、注意されたり、叱られたりしたら、なかなか「ありがとう」という気持ちにはなれません。

でも、失敗したときや大きな問題に直面したときに、これは自分を成長させるための試練だ！と考えることができれば、感謝の心をもつことができるのではないのでしょうか？

どんな困難に会おうと、どんな問題が起きようと、感謝の心で強く立ち向かっていく人間になってほしいと願っています。

さすがにレベル3で挙手してくれる人はいないかな？と思いましたが1人だけ手を上げてくれました。

急に「レベル3の感謝の気持ち」は難しいですが、是非、レベル3に向かって、成長して行ってほしいと願っています。

このような話をきっかけに、ご家庭でも感謝の気持ちについて話題にしてみてもいいでしょうか。

12月の行事予定①

- 1日(水) 全校朝会 安全点検日
 参観日(5校時)・懇談会
 教育委員会説明会 B日課
 学年レク(3年)
 ※学習発表会写真展示
- 2日(木) 第2回学校評価委員会
- 3日(金) 定時退勤日
- 6日(月) 秩父別町教育研究会第3回部会
 (三部会合同研修)
- 8日(水) 職員会議 B日課
- 10日(金) 第2回学校運営協議会
 ※学習発表会写真申込み〆切

12月の行事予定②

- 13日(月) 研修⑧
- 15日(水) B日課 2年外国語
 年度末反省会議①
- 17日(金) 1年外国語
- 20日(月) 年度末反省会議②
- 22日(水) 年度末反省会議(予備日)
 B日課
- 24日(金) 2学期終業式 定時退勤日
- 27日(月) ジャンプアップ教室①
- 28日(火) ジャンプアップ教室②
- 29日(水)～1月5日(水)
 学校閉庁日

絆づくりプロジェクト

いじめの芽は、子ども達を取り巻くさまざまな場面にあり、ちょっとしたことや何気ないことが子ども達の心を傷つけてしまう場合があります。

秩父別小学校では、すべての教職員が子ども達の様子を細やかに観察するとともに子ども達と積極的に関わることで、一人ひとりの表情や言葉を受け止め、よりよい対応と指導を通して、いじめの未然防止に努めています。これらの取組により、【いじめは、けっして許されるものではない】という意識が、子ども達一人ひとりの中に育ってきています。

今月は、書記局が作成した目標「ひまわりのような笑顔あふれる学校」を目指して、書記局の子ども達が「ひまわり運動 絆づくりプロジェクト」を行いました。全校朝会の書記局からの呼びかけで集まった【元気なあいさつシール】と【友達への感謝の言葉】が貼り付けられ素敵な掲示物が完成しました。

このような取組を通して、子ども達には、いつも自分の言動について考え、まわりの友達と優しく関わる気持ちを大切にしてほしいと考えます。



楽しい学校生活を送るためのアンケート結果

本校では、いじめの未然防止・早期発見の観点から2回目のアンケートを実施いたしました。その結果、次のような項目で嫌な思いをしていると回答した児童がいました。毎日、共に生活していると、わる気はなくても小さな衝突や些細なことで相手に嫌な思いをさせることがあるので、気をつけることが大切です。

各学級ではアンケート後の教育相談を通して、児童一人ひとりの思いを聞き取り、現状の課題を解決するための指導を行いました。今後も丁寧な経過観察および指導を通して、児童全員が楽しい学校生活を送れるよう努めていきます。(全校児童100人)

「あなたは、今年の4月から今日まで嫌な思いをしたことがありますか。」(ある26)

- 内容 ・悪口を言われる(14)・無視(12)・たたかれる、けられる(20)
 ・物を隠される(9)・恥ずかしいことをされたり、させられる(3)

「嫌な思いをしたとき、誰に相談しますか。」

- ・学校の先生(59)・友人(43)・父や母(73)・兄弟姉妹(25)・電話相談(2)
 ・誰にもしない(8)

「いじめはどんな理由があってもゆるされないものだ。」

- ・そう思う(78)・そう思わない(9)・よくわからない(13)